

事務事業マネジメントシート(平成22年度実績と平成23年度計画)

平成23年 7月26日 更新

事務事業名		日本道路協会参画事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト 関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断 課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革 プラン関連	
総合 計画 体系	政策	1	人々が安全に安心して暮らせるまちづくり			所属部	都市建設部	課長名	米澤俊一	
	施策	5	道路ネットワークの充実			所属課	建設課	担当者名	中村房昭	
	基本事業	13	計画的な道路の整備			所属班	管理計画班	(内線)	2272	
予算科目		会計 一般	款 8	項 1	目 1	事業連番 10071	法令 根拠			成果優先度評価結果 ⑫ コスト削減優先度評価結果 ⑥
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 22年度から開始			事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 ～ 年度)			

★事務事業の概要 (具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景、きっかけ・今後の状況変化を含む)	国内外の道路の果たす多様な役割を通じて、国民生活に不可欠な道路のあり方を研究し、道路に関する知識の普及、道路及び交通の発達の推進を図る。国内外の道路の果たす多様な役割を通じて、国民生活に不可欠な道路政策のあり方を研究し、道路に関する知識の普及、道路及び交通の発達を推進することを目的として昭和22年9月に社団法人として設立されている。公共事業の削減により厳しい状況である。
【業務の流れ】	負担金の支払い。研修会へ参加。
【主な予算費目】	負担金補助及び交付金として協会に負担している。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標 ①手段(主な活動) 22年度実績(22年度に行った主な活動) (DO)		新規・拡充区分 23年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN)	
・負担金の支出しをしました。・研修会へ参加をしました。			
・負担金の支払い		・負担金の支払い・研修会に参加	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標) ア)負担金の支出 ⇒イ)研修回数		(単位) 回 回	
②対象指標(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等 建設課職員		(単位) 人	
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか) 道路の専門的知識が習得できる。		(単位) 人	
③成果指標設定の理由と23年度目標値設定の根拠			

(2)各指標・総事業費の推移			単位	20年度 実績(決算)	21年度 実績(決算)	22年度 目標(当初予算)	22年度 実績(決算)	23年度 目標(当初予算)	24年度 予定	25年度 見込	総トータルコスト 全体計画 ～ 年度
①活動指標			ア)回 イ)回	1 3	1 3	1 3	1 3	1 3	1 3	1 3	
②対象指標			ア)人 イ)	17	17	16	17	15	15	15	
③成果指標			ア)人 イ)	3	3	3	3	3	3	3	
投 入 量	財 源 内 訳	国庫支出金 都道府県支出金 地方債 その他 繰入金 一般財源	千円								
	(A)事業費計	千円	30	30	30	30	30	30	30		
	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	30	30	0	0		
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0		
	人 件 費	正規職員従事人数 延べ業務時間	人 時間	3 40	3 40	3 40	2 50	3 0	3 0	3 0	
(B)人件費計			千円	160	159	159	206	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)			千円	190	189	189	236	30	30	30	

事務事業名	日本道路協会参画事業	所属部	都市建設部	所属課	建設課
-------	------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (S E E)

*原則は22年度の事後評価、ただし複数年度事業は22年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①22年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 □
	②23年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり ⇒【理由】 □ 道路計画、道路建設を行う上で、知識の習得を目的に研修会へ参加を必要とする。	<input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】 □
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させ余地はあるか？成果が頭打ちになってないか	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 □ 国・県道整備の要望及びその財源確保をこの協会で要望しているが、財政状況が厳しく道路整備が進んでいない。	<input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 □
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある □ □統廃合・連携ができる ⇒【理由】 □ ☑統廃合・連携ができない ⇒【理由】 □ 他に類似団体はない。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 □
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？（仕様や工法の適正化、住民の協力など）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 □ 事業費は、負担金のみでありこれ以上の削減は見込めない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 □
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？（アウトソーシングなど）	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 □ 道路の知識は、建設課の職員にとって不可欠であるためこれ以上の削減は見込めない。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 □
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 □ 国・県道の整備を行い、道路利用者の迅速性・安全性・快適性を追及するものであり、公平・公正である。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 □
	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 □ 職員の研修会であり移行はできない。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 □

3 評価結果の総括 (S E E) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

--

4 今後の方向性（事務事業担当課案）(P L A N)

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善（有効性改善）
事業のやり方改善（効率性改善） 事業のやり方改善（公平性改善）
現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)

成績	向上	コスト		
		削減	維持	増加
維持			○	
低下				

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策

--